

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第3回研修を開催しました！」

第3回の研修は、令和6年5月10日（金）11日（土）に雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、「土づくり・肥料」及び「トマトの栽培」の講義と、実習では「トマトの定植」を行いました。

講義では研修指導員から、土づくりは、「物理性・化学性・生物性」3要素のバランスが重要であり、土の状態を考慮して、たい肥や化学肥料等を施用すること、との説明がありました。

また、「トマトの栽培」では、トマト栽培の概要や、定植時や栽培の留意点などの説明がありました。

休憩を挟み、実習ほ場のパイプハウスにおいて、トマト苗の定植作業を行いました。

作業の前に、担当者からトマトの栽培方法及びパイプハウス内の隔離床栽培施設について

の説明がありました。受講生は設備費などを聞き、時折驚きの声をあげ、興味深く施設内を観察していました。

説明の後、白黒ダブルマルチを隔離床に敷設し、株間を計測しながらマルチに穴を開けて、定植の準備を整えました。

実際の定植作業では、講義で学んだ「深植えをせず、地ぎわと培土の表面を合わせる。根鉢と培土をしっかりと密着させること。」を意識しながら、トマトの苗を植え、仮支柱への誘引も行いました。

受講生は、定植をするごとにコツをつかみ、1つ1つ丁寧にトマト苗を定植しました。

次回は5月17日（金）、18日（土）に同会場で講義は、「鳥獣害対策について」等、実習では「電気柵の設置」等を行う予定です。



講義「土づくり・肥料」についての様子



白黒ダブルマルチを敷設する受講生



大玉トマトの苗を定植する受講生



大玉トマトの苗を仮支柱に誘引する受講生